



おおらか さわやか きわやかな人を育む大崎の教育

☎ 教育委員会 ☎ 476-1111 (401)

◆大崎町奨学生募集のご案内

大崎町教育委員会では、次の要領で大崎町奨学生を募集します。

【申し込み資格】

■大崎町内に3年以上居住する人の子弟で、高等学校・高等専門学校・大学・専門学校など（予備校を除く）に在学していること

■学業および性行が優良かつ身体強健で、経済的理由により修学困難であること

【奨学金（貸与）の月額】

高等学校など 1万円 ・ 高等専門学校 2万円 ・ 大学および専門学校 2万2千円

【受付期間】

平成24年4月9日（月）～4月23日（月）

※申込方法など、詳細は、大崎町教育委員会管理課へお問い合わせください。

◆『健康に関する標語』について

『第27回曾於地区健康に関する標語』選考会において、大崎町の児童の作品が特選に選ばれました。

特選

《小学校3年生の部》

よくかんで おなかも 頭も ぜっこうちょう 菱田小学校 高木 一馬

特選

《小学校5年生の部》

泣いてるよ ゲームのやりすぎ 目は悲鳴 大丸小学校 柳別府 拓生

まぶい窓おしの庭

NO.4

学力の基盤を居間で育てる

菱田小学校 校長 前田 正弘

子どもたちに学力をつけることは、学校の一番の使命です。しかし、その学力の伸びを支える学習基盤を育てるのは家庭の役割です。学校や自分の子育ての経験から、ご家庭で特に大切にしてほしいことを2つに整理してみました。キーワードは『居間で育てる』です。

1つ目は、言葉の力を育てることです。言葉の力は全ての教科に影響し、生きる力に欠かせない思考力を支えます。ですから、赤ちゃんのときからいっぱい声かけや会話をし、しっかりと言葉を身に付けさせたいものです。それをさらに効果的にするのが絵本の読み聞かせです。ブックスタート運動という赤ちゃんへの読み聞かせ運動では、3か月から絵本の読み聞かせをします。3か月でもう立派な読者なのです。読み聞かせによって、聴く力や想像力も育ちます。読めるようになって、我が家では上の子が5年生、下の子が3年生まで読んでやりました。

2つ目は、知的好奇心を育てることです。知的好奇心は学習意欲を左右します。このための方法としておすすめしたいのが、絵本や色々な図鑑、地図帳、国語辞典、漢字字典、それ以外の本類をなるべく居間に置くようにすることです。すると、居間は、家族が集い、様々な話題が飛び交う刺激的な知的空間になります。テレビで知らない地名が出てきたらすぐに地図帳で、難しい言葉は国語辞典でというように、気になったらすぐに調べさせるうちに知的好奇心が次第に育ってきます。また、テレビやゲームを消せば、居間はそのまま勉強部屋になります。宿題も、親が炊事や新聞を読んでいる横でいっしょにさせればよいのです。成長すると、親が読んだ本を子どもが手にとって読むようになります。